

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：30項目

問題あり：7件

要確認：4件

問題なし：19件

詳細な検証結果

1. 固有名詞

記載内容：「櫻井充（さくらい・みつる）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式サイト及び各種政府公開資料で確認

記載内容：「1956年生まれ」

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式サイト、Wikipedia等で「1956年（昭和31年）5月12日」と確認

記載内容：「仙台第一高校」

検証結果：✓正確

根拠・出典：正式名称「宮城県仙台第一高等学校」で各種資料で確認

記載内容：「東京医科歯科大学医学部」

検証結果：✓正確

根拠・出典：各種プロフィール資料で確認

記載内容：「東北大学大学院で医学博士号を取得」

検証結果：✓正確

根拠・出典：1993年取得と各種資料で確認

2. 数値情報

記載内容：「1998年に旧民主党公認で参議院議員に初当選」

検証結果：✓正確

根拠・出典：第18回参議院議員通常選挙（1998年）で初当選と確認

記載内容：「以後5期連続当選」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia等で「自由民主党所属の参議院議員（5期）」と確認

記載内容：「2021年に自民党へ入党」

検証結果：✗誤り

正しい情報：2022年5月に自民党入党

根拠・出典：Wikipediaで「2022年5月11日までに入党手続きを終え、正式に自民党所属議員となった」と確認

記載内容：「2022年の第26回参院選では自民党公認候補として宮城選挙区で当選」

検証結果：✓正確

根拠・出典：自民党公式サイト等で確認

記載内容：「提出法案数 8本」

検証結果：△要確認

根拠・出典：具体的な法案数の検証が困難、推計値として記載されている

記載内容：「可決法案数 8本」

検証結果：△要確認

根拠・出典：具体的な可決法案数の検証が困難

記載内容：「国会発言回数 約350回」

検証結果：△要確認

根拠・出典：推計値として記載されており、正確な数値の検証が困難

記載内容：「Twitterフォロワー 約1.2万人 → 1.5万人」

検証結果：△要確認

根拠・出典：推計値として記載されており、正確な数値の検証が困難

3. 法案・政策関連

記載内容：「成育医療等基本法」と「脳卒中・循環器病対策基本法」の制定に超党派で尽力し、2018年に両法案は成立」

検証結果：✕誤り（部分的）

正しい情報：成育医療等基本法は2018年成立で正しいが、脳卒中・循環器病対策基本法は2018年12月成立

根拠・出典：成育医療等基本法は2018年12月成立（法律第104号）、循環器病対策基本法も2018年12月成立が確認できるが、櫻井議員の具体的関与については詳細な検証が必要

記載内容：「櫻井議員自身、超党派議連の事務局長や提案者として水面下の調整を担い」

検証結果：✕誤り

正しい情報：成育基本法推進議員連盟の事務局長は自見はなこ議員

根拠・出典：自見はなこ議員の公式サイトで「2018年5月に設立した超党派『成育基本法推進議員連盟』で事務局長を拝命」と確認

4. 経歴・役職関連

記載内容：「民主党政権下では財務副大臣、厚労副大臣を務めました」

検証結果：✓正確

根拠・出典：首相官邸資料で菅直人内閣で財務副大臣、野田第3次改造内閣で厚生労働副大臣を確認

記載内容：「現在三期目」（櫻井議員の公式サイト記載）

検証結果：✕誤り

正しい情報：現在5期目

根拠・出典：公式サイトの記載が古く、実際は5期目（2022年選挙で当選）

5. 党派・政治的立場

記載内容：「2015年安保法制には野党議員として反対票を投じました」

検証結果：✓正確

根拠・出典：当時民主党系議員として反対の立場だったことが確認できる

記載内容：「集団的自衛権の解釈変更（2015年安保法制）」

検証結果：✕誤り

正しい情報：集団的自衛権の解釈変更は2014年、安保法制成立は2015年

根拠・出典：解釈変更は2014年7月の閣議決定、法制成立は2015年

改善提案

修正が必要な箇所

- 自民党入党時期: 「2021年に自民党へ入党」 → 「2022年5月に自民党へ入党」
- 法案関与の詳細: 成育医療等基本法に関する櫻井議員の具体的役割について、事務局長ではなく支援者としての表現に修正
- 当選回数: 公式サイトの「現在三期目」は古い情報であり、実際は5期目
- 集団的自衛権の時期: 解釈変更（2014年）と法制成立（2015年）を明確に区別

追加確認が推奨される情報

- 定量実績の数値: 法案数、発言回数、SNSフォロワー数などの推計値の精度向上
- 具体的政策発言: 引用されている発言内容の一次資料確認
- 法案関与の詳細: 各法案における具体的役割の検証
- 最新の政策スタンス: 2025年時点での最新の政策立場の確認

全般的な改善点

記事は全体的に詳細で包括的ですが、一部に推測や不正確な情報が含まれています。特に数値データについては出典を明確にし、政治的立場や法案関与については一次資料での確認が重要です。